

事業報告

I 総括

第77回栃木国体では、バスケットボール成年男子の4連覇をはじめ、ボート成年女子ダブルスカル、陸上競技少年男子共通800m、カヌーSL成年男子カナディアンシングル15Gと25G、成年女子カヤックシングル15G、レスリング成年男子グレコローマンスタイル77kg級の7つの優勝があった。天皇杯31位となり、前回の茨城国体の44位から大幅に順位を上げた。特に少年種別においては、前回の最下位47位から31位へ躍進した。

特別国体スケート競技会、スキー競技会も開催され、岩手県八幡平市で開催されたスキー競技会においては、成年女子Bクロスカントリー、少年男子クロスカントリー、少年女子クロスカントリー、少年男子コンバインド、少年男子クロスカントリーリレーの5つの優勝があり、天皇杯・皇后杯ともに3位と昨年度を上回る成績を収めた。

チームAKITA強化・育成システム2年目は、コロナの影響を受けた令和3年度と比較し、積極的に活動できた。指定9競技団体においては、陸上競技でインターハイ男子1500mと800mと上記栃木国体少年男子共通800mで大野聖登選手（秋田工業高）が3つの優勝を果たした。また、スキーでは、上記岩手八幡平国体での活躍の他、インターハイ女子クラシカル5kmで畠山香恋選手（花輪高校）の優勝と学校対抗で花輪高校が女子の部で優勝を果たした。レスリングでは、イタリアで開催されたU-17世界選手権で佐藤杏樹選手が優勝を果たした。

秋田県中学生強化選手の活躍では、全国中学校体育大会において、柔道男子個人90kg級で伊藤志竜選手（秋田市立山王中学校）が秋田県勢として22年ぶりの優勝を果たしている。また、フェンシングでは全国中学生フェンシング選手権大会の男子団体で秋田市ジュニアフェンサーズが優勝し、チームの一員として伊藤煌二郎選手（秋田市立泉中学校）の活躍があった。女子エペ個人では、成田和叶（秋田市立城南中学校）が優勝を果たしている。

社会人スポーツ強化チームでは、JR東日本秋田バスケットボール部が栃木国体で4連覇を果たし、高松宮杯第5回全日本社会人バスケットボールチャンピオンシップで準優勝した。秋田銀行バスケットボール部も高松宮杯第5回全日本社会人バスケットボールチャンピオンシップで3位、栃木国体では秋田銀行を中心とした成年女子チームで5位入賞している。秋田ノーザンブレッツラグビーフットボールクラブは、トップイーストリーグAで残留を決め、栃木国体では成年男子7人制で7位入賞している。北都銀行バドミントン部は、2022年度バドミントンS/Jリーグで3位となり、第27回世界バドミントン選手権大会2022の女子ダブルスで松本麻佑、永原和可那ペアが3位と国際大会での活躍があった。

アスリートの就職支援については、19名を支援し、5名のマッチングが成立した。求人側の採用意欲は高いものの、アスリートの就職意識が低いことから、大学生を中心に制度の周知徹底と企業情報の提供に努めた。

生涯スポーツの振興では、総合型クラブの登録・認証制度の運用が開始され、県内22クラブが全国協議会に加盟し、より公益性の高い社会的な仕組みの中、各クラブが自立的な運営を含む質的充実に向けて取り組んだ。

また、スポーツ少年団活動では、交流大会を開催し団活動の活性化を図ったほか、スポーツ少年団の指導者育成のため、養成講習会や研修会を実施した。

II 事業内容

《公1》競技スポーツ事業

【4, 939千円】

1 第73回県民体育大会

(1) 第73回県民体育大会の運営に必要な経費の一部助成

1 競技の中止により、40競技 6, 885名が参加

《公2》スポーツの競技力向上及び普及等に関する事業

【98, 463千円】

1 競技力向上対策事業

(1) スポーツ医・科学の活用

スポーツドクター、トレーナーによるスポーツ医・科学的サポート

①国体選手・指導者のメディカルチェック及びサポート

国民体育大会本大会と冬季大会で実施

②国体への本部役員帯同ドクターの派遣 本大会3名派遣、冬季大会3名派遣

③国体への本部役員帯同アスレティックトレーナーの派遣

本大会3名派遣、冬季大会2名派遣

④アンチ・ドーピング講習会の開催

県内トレーナー・栄養士・競技団体強化担当者 [令和4年7月17日] 実施

国体出場選手 [令和4年9月1日] 中止

スポ少指導者・保護者 [令和5年3月12日] 実施

(2) 東北ブロック・国体への選手団派遣

①東北ブロック大会兼第49回東北総合体育大会（青森県）

[令和4年8月19日～21日（主会期）]

夏季競技会2競技中止

エントリー数 35競技 844名

②第77回国民体育大会本大会（栃木県）

[令和4年9月10日～10月11日（本大会）]

エントリー数 31競技 379名

③特別国民体育大会冬季大会

[スケート競技会 令和5年1月28日～2月2日]（青森県八戸市、南部町）

エントリー数 1競技 10名

[スキー競技会 令和5年2月17日～20日]（岩手県八幡平市）

エントリー数 1競技 78名

(3) チームAKITA強化・育成システムによる選手育成・強化

①チームAKITA強化・育成システム

指定の9競技団体にスポーツ振興課・保健体育課・スポーツ科学センター・本会の4課
合同視察を行い、強化練習会の激励・戦力分析の実施

②中学生強化選手の指定・研修

選手の指定 [令和4年6月25日] 9競技 37名

[令和4年11月26日] 7競技 18名

メディカルチェック（身体検査・採血検査）[令和4年6月25日、11月26日] 実施

資質・競技力向上研修（フィジカルトレーニング、宿泊研修等）

[令和4年8月27～28日（28日のみの日帰り研修に変更）、11月23日、令和5年2月23日] 実施

- (4) テクニカルアドバイザー等による競技力向上
テクニカルアドバイザー（9名）、ジュニア育成アドバイザー（2名）を配置
- (5) 社会人チームの支援及び強化
国体等で活躍する社会人スポーツ選手の競技力向上のための支援
- (6) トップアスリートの活躍を支援する取り組み
現役アスリートが県内に就職し競技を続行できるようにするため、アスリート就職推進アドバイザーを配置し、求人・求職情報の収集とマッチングサポートを実施
(コロナ禍支援者延べ19名、事業適用者なし、候補者1名、一般マッチング者5名)

2 スポーツの普及・振興を図るための広報活動

- (1) 機関誌「スポーツ秋田」(年3回 各2,000部)
- (2) スポーツ関連情報をホームページで発信

3 加盟団体が実施したスポーツ事業への助成

- (1) 地域団体及び学校体育団体へ助成（28件）：加盟団体育成事業交付金
- (2) 競技団体へ助成（8件）：スポーツ振興助成事業助成金

4 体育・スポーツの振興に顕著な功績があった者の顕彰

- (1) 秋田県スポーツ賞表彰 [令和5年3月13日]
功労賞8名、栄誉賞3名、生涯スポーツ賞1名、国際優秀賞2名、国際奨励賞4名、優秀指導者賞2名、栄光賞（個人38名・団体12）、奨励賞（個人10名・団体2）
- (2) 人見スポーツ賞表彰 [令和5年3月23日]
個人の部 大野 聖登（陸上競技・秋田工業高校3年）
団体の部 秋田県少年男子リレーチーム（スキー）
- (3) 畠沢国体賞表彰 [令和5年3月23日]
個人の部 佐々木 将汰（カヌー・万六建設(株)）
団体の部 秋田県成年男子チーム（バスケットボール）
- (4) 辻ジュニアスポーツ大賞表彰 [令和5年3月23日]
個人の部 伊藤 志竜（柔道・山王中学校3年）
団体の部 秋田市ジュニアフェンサーズ（フェンシング）
- (5) 蒔苗スポーツ指導者賞表彰 [令和5年3月23日]
黒政 成広 JR東日本秋田バスケットボール部ペッカーズ ヘッドコーチ

5 人見スポーツ傷害基金による傷害防止対策事業

- 研修会 中止
- 死亡弔慰金の給付 該当なし

6 競技団体が実施する競技会等の共同主催（後援）

共同主催 2件（県体、東北総体）

後援 68件

《公3》生涯スポーツ振興事業

【20, 250千円】

1 総合型地域スポーツクラブの育成指導・助言

(1) 総合型クラブの登録・認定

県内 22クラブ

(2) 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会事業

①総合型地域スポーツクラブ常任幹事会・総会

・第1回臨時常任幹事会（令和4年6月27日）

・設立総会（令和4年6月27日）

・第2回常任幹事会（令和4年1月25日）

・第3回常任幹事会（令和5年3月3日）

②東北ブロッククラブネットワークアクション2022の開催（主催：日本スポーツ協会）

岩手県開催 [令和4年11月5日6日] 参加者79名（秋田県12名）

③スポーツクラブ推進体制基盤強化事業（国庫補助事業）

・地域スポーツ推進団体連絡会議（令和4年11月9日）

・スポーツによる地域課題解決に向けた取組

[スポーツを通じた介護予防、健康増進研修会]（令和4年11月25日）

(3) チャレンジデーへの参加促進

県内17市町村で実施 参加者218, 365人 参加率50.4% [令和4年5月25日]

2 スポーツ指導者養成のための講習会、研修会

(1) スポーツ指導者研修会

第1回秋田県スポーツ指導者研修会 [令和4年6月11日] 参加者43名

第2回秋田県スポーツ指導者研修会 [令和4年7月9日] 参加者39名

第3回秋田県スポーツ指導者研修会 [令和4年11月3日] 参加者41名

(2) コーチ1・コーチ2養成講習会

日本スポーツ協会公認卓球コーチ2（専門科目）養成講習会

[令和4年10月29日～11月27日] 参加者12名

日本スポーツ協会公認ソフトテニスコーチ1（専門科目）養成講習会

[令和4年10月30日～11月20日] 参加者9名

日本スポーツ協会公認卓球コーチ2（共通科目Ⅱ）養成講習会

[令和4年12月3日～12月4日] 参加者12名

3 スポーツ少年団の競技別交流大会、リーダー養成研修会等の実施

(1) 交流大会

①第59回秋田県スポーツ少年大会（仙北市、令和4年7月29日～31日）中止

②第45回秋田県スポーツ少年団大会（各地、令和4年6月～令和5年2月）

例年は、8競技の実施であるが、新型コロナウイルス感染症の影響からバレーボール競技が中止となった。サッカー（令和4年6月18日～19日 608名）柔道（令和4年

9月25日 185名) 軟式野球(令和4年8月10日~13日 330名) ラグビー(令和4年9月24日~25日 284名) 卓球(令和4年12月18日 320名) ミニバスケットボール(令和4年11月26日~27日 女子177名 令和4年12月3日~4日 男子180名) スキー(令和5年1月9日 ジャンプ7名 令和5年2月11日 アルペン44名 令和5年2月11日~12日 クロカン53名) の7競技を実施した。

- ③東北ブロックスポーツ少年団競技別交流大会(2県で開催、令和4年7月~令和5年3月)
例年は、4競技の実施であるが、新型コロナウイルス感染症の影響から柔道競技が中止となった。サッカー(青森県 令和4年7月17日~18日 2団) 軟式野球(青森県 令和4年7月9日 1団) ミニバスケットボール(秋田県 令和5年2月25日~26日 女子2団 令和5年3月4日~5日 男子2団) の3競技を実施した。

(2) リーダー養成(随時開催)

- ①リーダー総会(秋田市、令和4年6月20日 指導者7名、団員14名)
②ジュニアリーダースクール(仙北市、中止)
③リーダー研修会(秋田市、令和5年3月19日 指導者5名、団員19名)
④リーダーの集い(秋田市、令和5年1月8日 指導者5名、団員16名)

(3) 海外交流事業

スポーツ少年団日独スポーツ交流事業 [受入:中止]

(4) スポーツ少年団モデル育成事業

上小阿仁村、五城目町、羽後町においてスポーツ交流会を実施。

4 スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会等、スポーツ少年団顕彰等

- (1) スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会(秋田市、令和4年7月2日 66名 令和4年8月6日 32名 令和4年8月20日 22名 令和4年9月17日 18名 令和4年11月26日 61名 令和4年12月10日 53名 大館市、令和4年7月23日 64名 能代市、令和4年11月12日 42名 横手市、令和4年10月1日 30名 大仙市、令和4年10月29日 48名)
- (2) 指導者等再研修会・育成母集団研修会(秋田市、令和4年12月11日 128名 羽後町、令和5年2月18日 37名 能代市 令和5年3月12日 32名)
- (3) スポーツ少年団顕彰事業
功労者8名、優秀指導者5名、優秀単位団7団、優秀母集団2団
- (4) スポーツ少年団広報事業
①広報誌「スポーツ少年秋田」(年2回 4,800部)
②「スポーツ少年団の現状」(年1回 900部)

《収益事業》

1 自主財源確保のための飲料水等販売事業

【5,595千円】

- (1) 自動販売機事業(17施設 72台設置)
(事業収入 5,284千円)

Ⅲ 組織運営及び財政確立

1 組織の充実

事務局の実施業務の効率的執行のため、課・担当を横断した業務遂行に努めたほか、強化委員による競技団体ヒアリングの実施や「チームAKITA1,000点プラン」達成に向けての検討など強化対策に努めた。

2 財政の確立

(1) 賛助会員

法人128団体 個人23名
・受取会費 1,780千円

(2) 寄附金

法人88団体 個人42名
・寄附金総額 8,390千円

(3) 特別寄附金

秋田ノーザンハピネッツ株式会社から、バスケットボールの普及・振興等のための寄附
・寄附金総額 1,000千円